

中医体質調査票（CCMQ）によるオンライン体質調査

宮脇 太朗, 鈴木 聡, 小椋 透, 浦田 繁

- 1) 鈴鹿医療科学大学 保健衛生学部 鍼灸サイエンス学科
- 2) 三重大学医学部附属病院 臨床研究開発センター

研究報告

中医体質調査票（CCMQ）によるオンライン体質調査

宮脇 太朗¹⁾, 鈴木 聡¹⁾, 小椋 透²⁾, 浦田 繁¹⁾

1) 鈴鹿医療科学大学 保健衛生学部 鍼灸サイエンス学科

2) 三重大学医学部附属病院 臨床研究開発センター

キーワード： 中国伝統医学, 中医体質調査票（CCMQ）, 平和体質, 偏向体質, オンライン

要 旨

中医体質調査票は、体質の決定や国民の健康維持・増進、疾病予防等の目的で、中国において国家基準として採用されている。しかし、日本の鍼灸業界で活用した報告は、我々の知る限りみられない。そこで本研究では、インターネットを活用し、公益社団法人全日本鍼灸学会メールマガジン登録者に対して、中医体質調査票を利用し、性別、年齢、居住地域、これまでの鍼灸受療回数と体質を調査した。中医体質調査票は、体質を①平和体質、②気虚体質、③陽虚体質、④陰虚体質、⑤痰湿体質、⑥湿熱体質、⑦瘀血体質、⑧気鬱体質、⑨特稟体質に分類する。いわゆる健康的な体質である平和体質以外の8種の体質は、偏向体質と呼ぶ。有効回答者数は、メールで協力を依頼し、同意を得た96名であった。男性の偏向体質では、陽虚体質と痰湿体質が最も多く、女性の偏向体質では、陽虚体質が最も多く、次いで瘀血体質が多かった。今回の結果から、中医体質調査票による体質は、性差を示し、気候の影響を受ける可能性があることがわかった。

1. はじめに

鍼灸師は、中国伝統医学（以下、中医学）にもとづき体質を評価し、診察・治療を進めている。中医学とは、中国の古典理論と臨床技術を統合し、理論体系化した東洋医学の一つ¹⁾である。中医学では、患者の症状・所見を分析し体質評価をしており、多くの鍼灸師が、これにもとづき治療方針を立てている。鍼灸師は、体質に併せた治療を行うことで、症状の緩解はもとより、予防を実践している¹⁾。

ただし、体質の種類は非常に多岐にわたるため、正確な体質評価をするためには、患者の診察に非常に時間がかかるという問題点がある。この問題点を解決するためには、簡便かつ正確に体質を導き出せるシステムが求められる。

中国では、中医学の概念にもとづき開発された中医体質調査票(Constitution in Chinese Medicine Questionnaire: CCMQ)がある²⁾。これは、中国において国家基準として採用され、体質評価に利用されるだけでなく、国民の健康維持や増進、疾病予防等に用いられている。中医体質調査票は、60項目の質問に対して、5段階で回答し、9種の体質に分類するシステムである。このシステムを用いることで、誰もが簡便に体質評価が出来る。また2008年には、Yanbo ZHUらによって日本語版も開発されている³⁾。しかし、日本の鍼灸業界で、中医体質調査票を活用した報告は、我々の知る限りみられない。

そこで、本研究では、インターネットを活用し、公益社団法人全日本鍼灸学会メールマガジン登録者に対して、中医体質調査票を利用し、性別、年齢、居住地域、鍼灸受療回数と体質について調査した。

2. 対象と方法

1) 調査期間

2019年2月25日～3月31日

2) 調査対象

調査対象は、公益社団法人全日本鍼灸学会メールマガジン登録者約3,000名とした。メールで協力を依頼し、同意出来る場合のみGoogle formで回答させた。Google form上で回答後、内容の送信をもって研究への同意を得たものとした。同意を撤回する場合は、回答内容を送信しないこととした。

本研究は、鈴鹿医療科学大学臨床研究倫理審査委員会の承認を得て実施した(承認番号:371)。

3) 調査内容

以下に調査項目を示す。回答は択一選択式とした。

- (1) 性別：男性，女性
- (2) 年齢：10代，20代，30代，40代，50代，60代，70代，80代
- (3) 居住地域：
 - 北海道
 - 東北（青森県，秋田県，岩手県，山形県，宮城県，福島県）
 - 関東甲信（東京都，栃木県，群馬県，埼玉県，茨城県，千葉県，神奈川県，長野県，山梨県）
 - 北陸（新潟県，富山県，石川県，福井県）
 - 東海（静岡県，岐阜県，三重県，愛知県）
 - 近畿（京都府，大阪府，兵庫県，奈良県，滋賀県，和歌山県）
 - 中国（鳥取県，島根県，岡山県，広島県）
 - 四国（香川県，愛媛県，徳島県，高知県）
 - 九州北部（山口県，福岡県，大分県，佐賀県，熊本県，長崎県）
 - 九州南部・奄美（宮崎県，鹿児島県）
 - 沖縄
- (4) これまでの鍼灸受療回数：
 - 0回，1～9回，10～19回，20～29回，30～39回，40～49回，50～99回，100回以上
- (5) 中医体質調査票（Constitution in Chinese Medicine

Questionnaire（CCMQ）：

中医体質調査票は、60項目の質問で構成され、それぞれの質問に、5段階（1. あてはまらない、2. あまりあてはまらない、3. どちらともいえない、4. ややあてはまる、5. あてはまる）から、1つ回答した。質問項目は、表1に示す。

4) 分析方法

中医体質調査票は、60項目の質問に対する5段階での回答をもとにスコア化し、9種の体質に分類するシステムである。9種の体質は、①平和体質、②気虚体質、③陽虚体質、④陰虚体質、⑤痰湿体質、⑥湿熱体質、⑦瘀血（おけつ）体質、⑧気鬱（きうつ）体質、⑨特稟（とくひん）体質がある。いわゆる健康的な体質である平和体質以外の8種の体質は、偏向体質と呼ばれる。偏向体質は、重複する場合がある。なお質問内容は、調査時の体調から判断するものとした。

5段階の回答は、「1. あてはまらない」が1点、「2. あまりあてはまらない」が2点、「3. どちらともいえない」が3点、「4. ややあてはまる」が4点、「5. あてはまる」が5点で点数化し、表2の計算式に従ってスコア化し、表3の判定基準にもとづき分類した。本研究では、表3の「あてはまる」の判定に該当したものをその体質とし、集計した。統計分析ソフトは、R version 4.1.1を使用し、体質間の関連をみるために相関分析を用いた。相関係数が0.7以上のものを強い相関、0.6以上0.7未満を中等度の相関がある、とした。

3. 結果

1) 回答数

回答者数は100名で、女性専用質問項目「おりものが黄色い」に回答した男性、男性専用質問項目「陰嚢がむれる」に回答した女性の計4名は除外し、有効回答者数は96名であった。

表1 中医体質調査票（CCMQ）における質問項目

- Q1. 気力・体力が充実していますか
- Q2. 疲れやすいですか
- Q3. 息切れしますか
- Q4. 動悸しますか
- Q5. めまいや立ちくらみしますか
- Q6. 物静かで、話をするのがおっくうですか
- Q7. 話し声が低く、力がないですか
- Q8. 忘れっぽいですか
- Q9. 気分が沈みがちで、憂鬱ですか
- Q10. 精神的に緊張しやすく、焦りや不安をおぼえますか
- Q11. くよくよして、メンタルが弱いですか
- Q12. 怖がりで驚きやすいですか
- Q13. 脇や胸のあたりが張って痛むことがありますか
- Q14. 胸部のつかえ感や腹部の膨満感がありますか
- Q15. 理由もなくため息が出ますか
- Q16. 身体が重だるい、またはすっきりしないことはありますか
- Q17. 手のひらや足の裏がはてることはありますか
- Q18. 手や足が冷えますか
- Q19. お腹や背中あるいは腰や膝の冷えを感じますか
- Q20. 寒がりや厚着を好みますか
- Q21. 身体や顔がほてりますか
- Q22. 寒がりですか(冬季の寒さや夏季のクーラーや扇風機が苦手)
- Q23. 風邪をひきやすいですか
- Q24. 風邪でもないのにクシャミが出ますか
- Q25. 風邪でもないのに鼻づまり・鼻水が出ることはありますか
- Q26. 季節の変わり目や温度変化や異臭によって咳き込み息苦しくなることはありますか
- Q27. 少し動いただけで汗が出ますか
- Q28. 顔(おでこ)がべとつき、テカテカに光っていますか
- Q29. 皮膚や唇が乾燥しますか
- Q30. アレルギー体質ですか(薬品・食品・香り・花粉・季節の変わり目・気候の変化)
- Q31. 蕁麻疹が出やすいですか
- Q32. アレルギーによって紫色のまだら(点状・斑状)の皮下出血がでますか
- Q33. いつの間にか身体に青あざができていますか
- Q34. 皮膚を掻くと赤くなり爪あとが残りますか
- Q35. 他人とくらべて唇の色が赤いですか
- Q36. 両頬に細い血管が浮き出ていますか
- Q37. 身体のどこかに痛みがありますか
- Q38. 両頬が、紅潮(赤みを帯びる)していますか
- Q39. 顔や鼻がべとつき、テカテカに光っていますか
- Q40. 顔色がくすみ、シミができてやすいですか
- Q41. ニキビや吹き出物ができてやすいですか
- Q42. 上まぶたが重く感じますか
- Q43. 目にくまができてやすいですか
- Q44. 目が乾燥しますか
- Q45. 唇の色がくすんでいますか
- Q46. 口や喉が渴き水を飲みたいですか
- Q47. 喉に何かつまっているという違和感がありますか
- Q48. 口の中が苦く、あるいは変な味がしますか
- Q49. 口の中が粘つきますか
- Q50. 舌苔(舌の表面)が粘ついたり厚い感じがしますか
- Q51. 普段から痰が多く、いつも喉に何かがつまっている感じがしますか
- Q52. 冷たい飲食物を食べる(飲む)と調子が悪くなることはありますか
- Q53. 季節や生活環境の変化に適応できますか
- Q54. 夜よく眠れないですか
- Q55. 冷たい飲食物を食べる(飲む)とお腹をこわしますか
- Q56. 大便に粘りがあり不快、出し切っていない感じがしますか
- Q57. 便秘がちで、硬い便がでますか
- Q58. 腹部が太り、柔らかいですか
- Q59. 排尿時に尿道に熱さをおぼえ、濃い色の尿が出ますか
- Q60. おりものが黄色い(女性)、陰嚢が蒸れる(男性)ことがありますか

表 2 中医体質調査票 (CCMQ) におけるスコア計算法

体質名	スコア計算式
①平和体質	$100 / 32 \times (Q1 + Q53 - Q2 - Q7 - Q8 - Q9 - Q22 - Q54 - 28)$
②気虚体質	$100 / 32 \times (Q2 + Q3 + Q4 + Q5 + Q6 + Q7 + Q23 + Q27 - 8)$
③陽虚体質	$100 / 28 \times (Q18 + Q19 + Q20 + Q22 + Q23 + Q52 + Q55 - 7)$
④陰虚体質	$100 / 32 \times (Q17 + Q21 + Q29 + Q35 + Q38 + Q44 + Q46 + Q57 - 8)$
⑤痰湿体質	$100 / 32 \times (Q14 + Q16 + Q28 + Q42 + Q49 + Q50 + Q51 + Q58 - 8)$
⑥湿熱体質	$100 / 24 \times (Q39 + Q41 + Q48 + Q56 + Q59 + Q60 - 6)$
⑦瘀血体質	$100 / 28 \times (Q8 + Q33 + Q36 + Q37 + Q40 + Q43 + Q45 - 7)$
⑧気鬱体質	$100 / 28 \times (Q9 + Q10 + Q11 + Q12 + Q13 + Q15 + Q47 - 7)$
⑩特稟体質	$100 / 28 \times (Q24 + Q25 + Q26 + Q30 + Q31 + Q32 + Q34 - 7)$

表 3 本研究における中医体質判定基準

体質分類	条件	判定
平和体質	スコア ≥ 60 点 平和体質以外の全てのスコア < 30 点	あてはまる
	スコア ≥ 60 点 平和体質以外の全てのスコア < 40 点	基本的にあてはまる
	上記以外	あてはまらない
偏向体質	スコア ≥ 40 点	あてはまる
	スコア $30 \sim 39$ 点	傾向あり
	スコア < 30 点	あてはまらない

2) 性別

性別は、男性が 38 名 (40.2%)、女性が 58 名 (59.8%) であった。

いで東海が 27 名 (28.1%)、近畿が 16 名 (16.7%)、九州北部が 7 名 (7.3%)、中国が 5 名 (5.2%)、東北が 3 名 (3.1%)、北陸、四国、九州南部・奄美がそれぞれ 2 名 (2.1%) であった。北海道と沖縄の回答者は 0 名であった。

3) 年齢

年齢は、40代が 30 名 (31.2%) と最も多く、次いで 50代が 21 名 (21.9%)、20代が 17 名 (17.7%)、30代が 13 名 (13.5%)、60代が 10 名 (10.4%)、70代が 5 名 (5.2%) であった。10代と 80代の回答者は 0 名であった。

5) 鍼灸受療回数

鍼灸受療回数は、100 回以上が 41 名 (42.7%) と最も多く、次いで 1~9 回が 15 名 (15.7%)、50~99 回が 13 名 (13.5%)、10~19 回が 12 名 (12.5%)、20~29 回が 8 名 (8.3%)、30~39 回と 40~49 回がそれぞれ 3 名 (3.1%)、0 回が 1 名 (1.0%) であった。

4) 居住地

居住地は、関東甲信が 32 名 (33.3%) と最も多く、次

6) 中医体質

男性の中医体質は、平和体質が4名であった。偏向体質は、陽虚体質と痰湿体質がそれぞれ18名と最も多く、次いで気虚体質が16名、特稟体質が14名、瘀血体質と気鬱体質がそれぞれ12名、湿熱体質が10名、陰虚体質が8名であった（図1）。

女性の中医体質は、平和体質が5名であった。偏向体質は、陽虚体質が41名と最も多く、次いで瘀血体質が30名、陰虚体質が25名、特稟体質が22名、気虚体質が21名、痰湿体質が18名、湿熱体質と気鬱体質がそれぞれ14名であった（図2）。

各体質スコアの相関分析の結果を図3に示す。気鬱スコアと気虚スコアには強い相関がみられ、気鬱スコアと

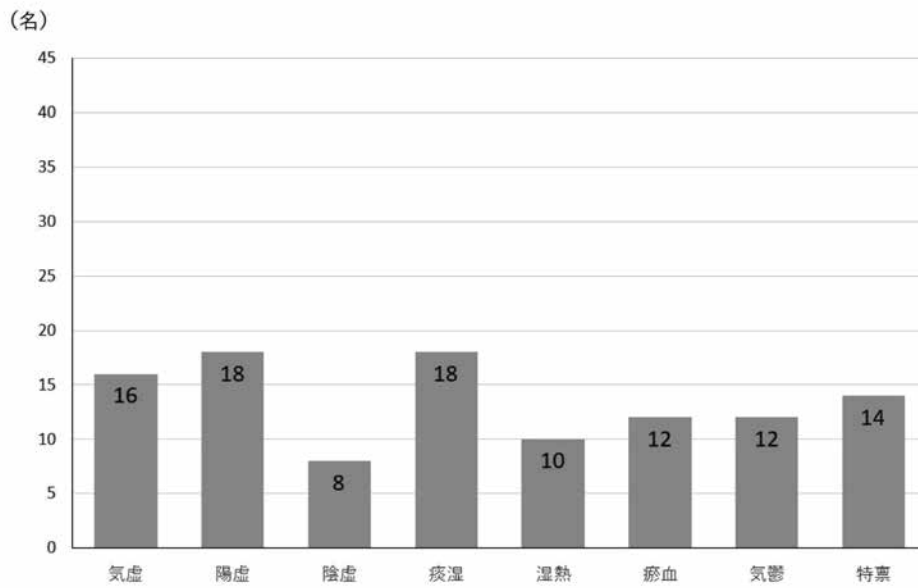


図1 男性における偏向体質

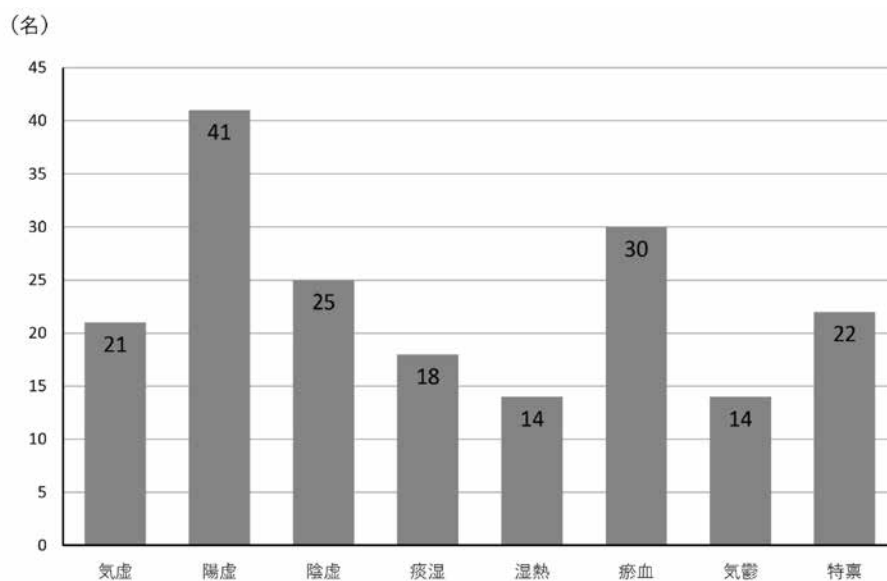


図2 女性における偏向体質

	平和スコア	気虚スコア	陽虚スコア	陰虚スコア	痰湿スコア	湿熱スコア	瘀血スコア	気鬱スコア	特稟スコア
平和スコア	1.000								
気虚スコア	-0.856	1.000							
陽虚スコア	-0.689	0.605	1.000						
陰虚スコア	-0.505	0.591	0.346	1.000					
痰湿スコア	-0.499	0.598	0.282	0.560	1.000				
湿熱スコア	-0.477	0.541	0.293	0.607	0.674	1.000			
瘀血スコア	-0.497	0.521	0.430	0.576	0.436	0.442	1.000		
気鬱スコア	-0.796	0.773	0.480	0.601	0.601	0.551	0.479	1.000	
特稟スコア	-0.444	0.461	0.327	0.493	0.391	0.342	0.372	0.482	1.000

図3 9種の中医体質スコアの相関

痰湿スコア、気鬱スコアと陰虚スコア、痰湿スコアと湿熱スコア、陰虚スコアと湿熱スコア、気虚スコアと陽虚スコアには中等度の相関がみられた。

4. 考察

中医体質調査票（CCMQ）は、60項目の質問に対して、5段階で回答し、9種の体質に分類するシステムである。①平和体質とは、精力に満ち溢れ、心身ともにバランスがとれている、いわゆる健康的な体質、②気虚体質は、元気不足により、呼吸が低く弱く、生体・臓器機能の低下などが現れている体質、③陽虚体質は、陽気（エネルギー）不足により、主に冷えやすく、寒さに弱い体質、④陰虚体質は、口やのどが乾き、のぼせやすい、水分不足体質、⑤痰湿体質は、代謝産物や湿気が溜まりやすく、汗をかきやすい体質、⑥湿熱体質は、体内に水分や熱がこもっており、皮膚が脂っぽく、吹き出物がやすい体質、⑦瘀血体質は、体内の血液循環が不良で、シミやクマが出やすい体質、⑧気鬱体質は、気分が沈みがちで、うつうつとしている体質、⑨特稟体質は、環境要素など外部刺激に反応しやすい過敏な体質と分類され、平和体質以外は、偏向体質と呼ばれる²⁻⁵⁾。

本調査票は、様々な分野で用いられているが⁵⁻¹⁰⁾、日

本の鍼灸関係者を対象とした報告はみられない。そこで、本研究では、公益社団法人全日本鍼灸学会メールマガジン登録者を対象とし、インターネット上で体質調査を行った。いわゆる健康的な体質である平和体質は男女とも少なく、偏向体質の中では、男性は陽虚体質と痰湿体質が同数最多を占め、女性では陽虚体質が最多を占め、次いで瘀血体質が多いという性差がみられた。

男女ともに陽虚体質が最も多くみられた。陽虚体質は、寒がりて手足が温まらない、温かいものを好んで飲む等、9つの体質の中で、冷えとの関わりが最も強い。本研究におけるアンケート調査は、2月25日～3月31日という、寒い時期に実施している。また、許らは、北陸地方で、春季に中医体質調査を実施した結果、偏向体質の中で陽虚体質が最も多かったと報告しており、この原因に、調査時期の北陸地方の厳しい寒さが関与していると考察している¹¹⁾。本研究と同じく、寒い時期における調査結果では、陽虚体質が多くなると結論づけている。中医学における体質は、生涯固定した概念ではなく、生活習慣などの環境要因などにより変化すると報告されている^{1,2,12)}。以上のことから、中医体質は、外気温の影響を受ける可能性がある。暑い時期での先行調査研究はみられないため、今後の課題としたい。

気鬱スコアと気虚スコアに強い相関がみられた。これ

は、中医学理論を支持する内容である。中医学では、気鬱体質の多くは、怒りなどの精神的刺激や、情緒の抑鬱などにより現れるが、気虚によっても誘発される。気鬱スコアと痰湿スコア、気鬱スコアと陰虚スコア、痰湿スコアと湿熱スコア、陰虚スコアと湿熱スコア、気虚スコアと陽虚スコアにも中等度の相関がみられた。気鬱体質は、気の流れを渋滞させる。これにより、体内の水分の流通が滞ると、痰湿体質となる。また、気の流れの滞りは、体内で熱を生むとされ、陰虚体質へと進展する。痰湿体質は、進行すると体内で熱を生み、湿熱体質になる。陰虚体質と湿熱体質は、双方とも体内で、熱が生じている体質である。気虚体質が進行すると、気の作用の一つである温煦作用（体を温める働き）が失われ、陽虚体質となる¹²⁻¹⁴⁾。中等度以上の相関がみられた体質は、中医学理論でも関連が強い。このことから、中医学体質調査票は、中医学理論を検証する新しいツールになりうる。今後、回答者数を増やすことで、年齢、居住地域、鍼灸受療回数が体質に及ぼす影響を検討する価値はある。

鍼灸師の多くは、中医学にもとづき、患者の体質評価を行い、治療を進めている。その一方で、中医学における体質は多岐にわたり、体質の決定には治療者の知識や経験に依存するところが大きく、客観性に乏しい。中医体質調査票を用いることは、知識や経験だけに依存しない客観的な体質評価が行えるだけでなく、効果的な治療方法の創出にもつながると考える。これを広く活用することが出来れば、患者はどの治療院でも、同様な体質評価および効果的な治療を受けることができるようになる。鍼灸だけでなく、他の東洋医学の治療法においても同様の効果が期待できると思われるため、今後それらの介入前後での中医体質調査票による体質調査を試みたい。

謝 辞

本研究にご理解を賜り、ご協力を頂きました公益社団法人全日本鍼灸学会及び回答頂いた方々に心よりお礼申し上げます。

文 献

- 1) 教科書検討小委員会. 第1章東洋医学の特徴. 新版 東洋医学概論 (東洋療法学校協会 編), 医道の日本社, 神奈川, p2-9, 16-19, 2015.
- 2) 王キ. 中医体質学とは何か. 中医臨床. 2006; 27: 312-319.
- 3) Yanbo ZHU, Hideki ORIGASA, Kazuo UEBARA, Fenghao XU, Qi WANG. Development and Validation of the Japanese Version of the constitution in Chinese Medicine Questionnaire (CCMQ). *Kampo Med.* 2008; 59; 783-792.
- 4) 鈴木信孝. 体質九分類～未病の新しい評価法とその応用～. 日本未病システム学会雑誌. 2019; 25: 14-21.
- 5) 山森明弘, 許鳳浩, 渡辺知幸, 黄銘, 小野直亮, 佐藤哲大, 他. 多変量解析法にもとづいた日本語版中医体質調査票 (CCMQ-J) における各質問間相関の評価ならびに BMI, 年齢の推定モデルの構築. 日本補完代替医療学会誌. 2016; 13: 43-56.
- 6) 濱館直史, 許鳳浩, 松本祥幸, 四倉磨美, 水上知江美, 瀬戸加代子, 他. 黒酢含有食品による血圧, QOL, 体質への効果. 日本補完代替医療学会誌. 2014; 11: 95-102.
- 7) 許鳳浩, 鈴木信孝, 榎本俊樹, 浦田哲郎, 須藤慶太, 宇住晃治, 他. 特殊精米技術を用いたお米の生活習慣病関連因子への影響. 日本補完代替医療学会誌. 2018; 15: 103-108.
- 8) 徳田 (角谷) 佐紀, 田中宏季, 中村哲, 村山宣人, 許鳳浩, 上馬場和夫, 他. 中医体質と生活習慣病リスクファクターの関連性に関する横断的研究. 日本補完代替医療学会誌. 2019; 16: 95-104.
- 9) 水野海騰, 高木健, 川ノ口潤, 石田寅夫, 桜庭大樹, 伊藤紀久夫, 他. イチョウ葉エキス, クルクミン, L-カルニチン, ヒハツエキス, 糖転移ヘスペリジン配合ドリンクの摂取による脳賦活・体質改善に及ぼす影響. 薬理と治療. 2020; 48: 1025-1037.
- 10) 三村朋也, 岡谷裕二, 宮崎千恵, 渡邊露子, 許鳳浩, 鈴木信孝. プラセンタエキスの中医体質に及ぼす

影響：オープン臨床試験. 日本補完代替医療学会誌. 2020；17：119-124.

- 11) 許鳳浩, 上馬場和夫, 朱燕波, 王キ, 鈴木信孝, 金谷重彦. 中医体質理論を用いた黒部地域住民の健康関連情報のデータ解析. 日本補完代替医療学会誌. 2020；17：145-153.
- 12) 森和, 西條一止. 鍼灸医学大辞典. 医道の日本社, 神奈川, p30, 111, 254. 2012.
- 13) 教科書検討小委員会. 第2章生理と病理. 新版東洋医学概論 (東洋療法学校協会編), 医道の日本社, 神奈川, p42-58, 70-73, 178-179. 2015.
- 14) 教科書検討小委員会. 第5章弁証論治. 新版東洋医学概論 (東洋療法学校協会編), 医道の日本社, 神奈川, p273-275. 2015.

— プロフィール —

宮脇 太朗 鈴鹿医療科学大学保健衛生学部鍼灸サイエンス学科・助教 博士 (鍼灸学)

〔経歴〕2002年明治鍼灸大学 (現明治国際医療大学) 卒業, 2007年明治鍼灸大学大学院 (現明治国際医療大学大学院) 鍼灸学研究科博士後期課程修了, 2007年ユマニテク東洋医療専門学校 (現ユマニテク医療福祉大学校) 専任教員, 2013年ユマニテク医療福祉大学校鍼灸学科学科主任, 2021年より現職。〔専門〕嗅覚誘発電位, 産業界における鍼灸受療ニーズの調査。

鈴木 聡 鈴鹿医療科学大学保健衛生学部鍼灸サイエンス学科・准教授 博士 (医学)

〔経歴〕1997年明治鍼灸大学 (現明治国際医療大学) 卒業, 2001年中国中医科学院修士課程修了, 2005年北京中医薬大学博士課程修了, 2005年鈴鹿医療科学大学鍼灸学部助手, 2007年鈴鹿医療科学大学鍼灸学部助教, 2010年鈴鹿医療科学大学鍼灸学部准教授, 2015年より現職。〔専門〕新しい鍼灸治療用具・機器の開発, 鍼灸治療効果の可視化研究。

小椋 透 三重大学医学部附属病院臨床研究開発センター・講師 博士 (理学)

〔経歴〕2004年中央大学卒業, 2006年中央大学大学院修士課程修了, 2010年中央大学大学院博士課程修了, 2010年中央大学経営システム工学科助教, 2014年より現職。〔専門〕生物統計学。

浦田 繁 鈴鹿医療科学大学保健衛生学部鍼灸サイエンス学科・教授 博士 (鍼灸学)

〔経歴〕1994年明治鍼灸大学 (現明治国際医療大学) 卒業, 1999年明治鍼灸大学大学院 (現明治国際医療大学大学院) 鍼灸学研究科博士後期課程修了, 1999年明治鍼灸大学鍼灸学部助手, 2004年鈴鹿医療科学大学鍼灸学部鍼灸学科講師, 2007年鈴鹿医療科学大学鍼灸学部鍼灸学科准教授, 2010年鈴鹿医療科学大学鍼灸学部鍼灸学科教授, 2018年より現職。〔専門〕遅発性筋痛に対する鍼刺激の改善効果, 薬膳素材の栄養学的検討。

Online Constitutional survey using the Constitution in Chinese Medicine Questionnaire(CCMQ)

Taro MIYAWAKI¹⁾, Satoshi SUZUKI¹⁾, Toru OGURA²⁾, Shigeru URATA¹⁾

1) Department of acupuncture and moxibustion, Faculty of Health Science, Suzuka University of Medical Science

2) Clinical Research Support Center, Mie University Hospital

Key words: chinese medicine, Constitution in Chinese Medicine Questionnaire(CCMQ), Gentleness type, Deflection type, online survey

Abstract

The Constitution in Chinese Medicine Questionnaire(CCMQ) has been adopted as a national standard in China for the purpose of determining constitution, maintaining and promoting national health, and preventing disease in China. However, to the best of our knowledge, there have been no investigation reports using CCMQ in the Japanese acupuncture and moxibustion industry. In this study, we utilized the Internet online survey for the registrants of the All-Japan Acupuncture and Moxibustion Society mail magazine by gender, age, area of residence, and number of previous acupuncture treatments and their constitutions using the CCMQ. The CCMQ classifies the constitution into ① Gentleness type, ② Qi-deficiency type, ③ Yang-deficiency type, ④ Yin-deficiency type, ⑤ Phlegm-wetness type, ⑥ Wet-heat type, ⑦ Blood-stasis type, ⑧ Qi-depression type, ⑨ Special diathesis type. The eight constitutions other than the Gentleness type were classified as Deflection type. The number of valid respondents was 97, who were asked to cooperate by e-mail and gave their consent. Yang-deficiency type and Phlegm-wetness type were the most common Deflection type in males. Among the female Deflection type, Yang-deficiency type was the most common constitution, followed by Blood-stasis type. The present results indicate that constitution by CCMQ shows gender differences and may be influenced by climate.